

地区別ワークショップの実施結果について

1 開催概要

(1) 実施日時・参加人数

回次	日時	場所	対象	参加人数（班数）
第1回	7月26日（土） 9：30～11：30	白井コミュニティセンター （復 1458-1）	主に「白井第一小学校区」（第1地区）にお住まいの方	8名（2班）
第2回	7月26日（土） 13：30～15：30	白井駅前センター （堀込 1-2-2）	主に「南山・池の上小学校区」（第5地区）にお住まいの方	6名（2班）
第3回	7月27日（日） 9：30～11：30	西白井複合センター （清水口 1-2-1）	主に「大山口・清水口・七次台小学校区」（第4地区）の南側にお住まいの方	21名（4班）
第4回	7月27日（日） 13：30～15：30	富士センター （富士 239-2）	主に「白井第三小学校区」（第3地区）にお住まいの方	28名（3班）
第5回	8月2日（土） 9：30～11：30	公民センター （中 98-17）	主に「白井第二小学校区」（第2地区）にお住まいの方	7名（2班）
第6回	8月2日（土） 13：30～15：30	西白井コミュニティプラザ （西白井 2-16-1）	主に「大山口・清水口・七次台小学校区」（第4地区）の北側にお住まいの方	7名（2班）
第7回	8月3日（日） 9：30～11：30	桜台センター （桜台 2-14）	主に「桜台小学校区」（第6地区）にお住まいの方	16名（3班）
			合計	93名（18班）

(2) 話し合いのテーマ

テーマ① 日常生活における移動の「困りごと」について

テーマ② テーマ①で挙げた「困りごと」を解決するための方法

テーマ③ 公共交通を維持するために、地域・自分たちができること

2 意見の取りまとめ

(1) 移動の困りごと

■交通・移動全般

○交通手段がないので高齢でも免許返納できない。 ○免許返納してもメリットがない。 ○車は止めたいと思っても不便なので止められない。 ○免許を返納したら引きこもりになってしまう。 ○自転車も乗れなくなり困っている。 ○そのうち歩けなくなることが不安。 ○スーパーまで徒歩で行けない。 ○歩いて買物に行くが帰りの荷物が重い。 ○独居になってもデイサービスに行きたい。 ○高齢者のサークルに参加したいが乗り物がない。 ○行動範囲が狭くなると認知症の発生率が高くなるのでは。	○シニアカーに抵抗がある人が多いのでは（恥ずかしい、駐車する場所がない）。 ○親の買い物や通院で私が運転しないとならない。 ○自家用車での駅への子供の送迎が大変。 ○家族に送迎してもらえなくなる不安がある。 ○高校生の通学が難しい。通学できないと下宿せざるを得ない。 ○駅まで遠くて歩くのが大変。 ○駅まで行く交通ルートが判らない。 ○歩行困難な人は近くのバス停に行くのも大変そう。 ○体力・体調に見合った交通を選べない。 ○バスやタクシーの利用方法がわからない。 ○市内に行きたい所がない。	○公共交通が減り住環境が悪化した。 ○駅前に魅力がない。 ○駅前に人が集まれる・休める店、時間をつぶせる場所がない。 ○駅周辺にショッピングモール、病院、公共施設等が集約されていない。 ○駅前駐輪場が使いづらい。 ○千葉ニュータウン中央駅の駐輪場が市外料金となるため高い。 ○選挙のとき投票所まで行けない。 ○大規模商業施設へのアクセスが悪い。 ○車移動が中心なので駐車場があることが前提。 ○カーシェアを使いたい近くにない。
---	--	--

■交通機関別

<バス>

共通	○本数が少ない。 ○通勤に使える便がない。 ○電車との接続が悪い。 ○早朝・夜間に駅に行く便がない。 ○終バスが早すぎる。 ○目的地に直接行けない。 ○時刻どおりに発着しない。	○乗り方がわからない。 ○家からバス停までが遠い。 ○バス停の位置がわかりにくい。 ○上りと下りで停留所が違ってわかりづらい。 ○バス停に屋根がない、炎天下で待ちたくない。	○バス同士の連携がよくない。 ○スマホを使えない人への情報が少ない。 ○運転が荒い。 ○高齢者の割引が少ない。 ○乗りたくない車両。 ○工業団地への通勤に不便、採用に悪影響（障がい者雇用率も労基管内で最低）
----	--	--	--

コミュニティバス	<ul style="list-style-type: none"> ○ルートが複雑でわからない。 ○遠回りで目的地まで時間かかる。 ○時刻表が分かりづらい。 ○利用したい時間に走っていない。 ○夜の便がなく電車から乗り継げない。 ○市役所乗り換えが不便。 ○乗り継ぎの仕方がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行き先表示がわかりにくい。 ○バスロケーションシステムが使いづらい。 ○遅延状況がわからない。 ○日曜・祝日に走っていないのでイベントや行事に行けない。 ○他市のバスとの連携していない。 ○回数券が不便。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が無料でない。 ○新鎌ヶ谷駅・鎌ヶ谷総合病院に行けない。 ○停留所が少ない。 ○危険なバス停がある。 ○夕方は通勤客で混んでいる。 ○発車時刻が近い便と乗り間違えそうになる。
民営路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ○鎌ヶ谷大仏と西船橋に行く便が少ない。 ○大幅に減便され不便。 ○バスの現在位置がスマホでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運賃が高い。 ○第2工業団地に行けない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○工業団地からの日中のバス便が少なく外出に利用できない。
病院・企業送迎バス等	<ul style="list-style-type: none"> ○ルート・時間が不明。 ○病院送迎車が狭くて乗り切れないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○病院送迎車に一般客も乗せて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○工業団地から駅への企業送迎にコストがかかる。

<タクシー>

<ul style="list-style-type: none"> ○台数が少ない。 ○駅でつかまらない。 ○呼んでもすぐに来ない。 ○予約が取れない。 ○予約した時間に来ないときがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○深夜・早朝に来てくれるか不安。 ○運賃が高い。 ○福祉タクシー券が使えない高齢者の通院には負担が大きい。 ○補助や割引がないので利用しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○車いすで乗れない。 ○介護タクシーが高い。 ○子どもだけで乗れたらいい（習い事など）。
--	---	--

<鉄道>

<ul style="list-style-type: none"> ○北総線の運賃が高い。 ○通勤定期が高く勤務先の交通費支給額を超えてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アクセス特急が停車しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アクセス特急がいつも混んでいて座れない。
---	--	---

■道路・交通安全

<ul style="list-style-type: none"> ○歩道が狭い（無い）ため危ない。 ○歩道に日陰がない。 ○道路の幅員が狭い。 ○路側帯が狭く自転車が危険。 ○川に橋が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○北環状線が途中で止まっている。 ○狭い道路沿いに住宅が増えている。 ○大型車が多く道が傷む、家が揺れる。 ○大型車両が住宅街に流入してくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マイカー通勤者が多く朝夕道が混む。 ○車からのゴミの投げ捨てが多い。 ○自転車の交通ルールが守られていない。 ○夜道が暗くて怖い。
---	--	---

(2) 困りごとに対する解決策、地域ができること

■交通・移動全般

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
1.	全体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現役と高齢者のニーズを分けて考える ・ 地域内の移動と拠点を繋ぐ交通を分ける ・ 需要に応じて取捨選択的な交通手段の導入（地区によってバス、デマンド交通を使い分け） ・ ナッシー号を駅直通にして地域内をグリスロでカバー ・ 住宅地はグリスロ、幹線道路はナッシー号など住み分け ・ 交通手段を増やし、地域の価値を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由に使える掲示板 ・ 困り事・解消策を共有、話し合う機会を設ける ・ 市長に意見を述べる
2.	高齢者の安心確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者に対する運賃・料金の割引 ・ 免許返納者への配慮（市役所の補助） ・ 福祉割引の周知・利用条件緩和 ・ シニアカーの通行ルール作り、店舗等への駐車スペース設置を市から協力要請 ・ シルバーカーの貸出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院に掛らないように健康管理に努める
3.	ドライバー等の人材確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動運転技術を活用し自動運転バスの導入を目指す ・ バス、タクシー運送会社等関係者と市の第3セクターを設立 ・ ナッシー号の小型化により経費節削、運転士確保 ・ 運転士の給与を上げる ・ バスの運転士雇用に市が助成 ・ シルバー人材センターの活用（運転手は無理でも維持・管理等のバックアップは可能では） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス or タクシー運転手に応募する（第二種免許所持） ・ 地域で2種免許の運転者（バス）を養成する
4.	新しい交通機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンドバス・タクシーの導入 ・ 昼間帯はデマンド型に ・ グリーンスローモビリティの導入 ・ 乗合タクシーの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー会社と協力して、オンデマンドタクシーを効率的に利用するシステムを作る ・ グリスロの運行協力（ドライバー、コースを考える等）

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
5.	シェアモビリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市で運営するカーシェアを作る ・ カーシェア利用料金を自治体が補助 ・ 白井市内の駅と市役所間にシェアサイクルを走らせる ・ LUUP などレンタル ・ 安全運転管理者を市側で設け、保険を整え、ライドシェアの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライドシェアのシステムに参加する ・ 主婦や定年退職者がライドシェアのドライバーとして参加
6.	地域が主体の移動手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅客運送業法の枠を越えたシステムの検討（例）NPO 法人の会員制システム等 ・ NPO 法人コラボしろい（ボランティア）との連携（大山口地区） ・ 保険制度の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での送迎団体を育成（市が一部補助する） ・ 地域住民で高齢者の病院等の送迎（運転ボランティア） ・ ボランティアグループを結成、運転者を登録制にして送迎をする。経費・保険を市で助成 ・ 沿線事業者（商業施設等）もコスト負担 ・ 地域で運用するグリスロ ・ 大学・企業の協力を得る ・ ヒッチハイクの受け入れ
7.	駅の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前を再開発して賑わえる場所にする ・ 駅前の駐輪場の使用料問題解決のため、市は印西と再協議を ・ 駅前に民間でもいいので憩いの場が欲しい 	
8.	交通行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通行政に対する予算を増やす ・ 交通関係全ての予算の集約化と各課横断のプロジェクトチームの創設 ・ 交通政策班の人員を増やす ・ バスの利用者数の統計をとる ・ 目的別、行き先、利用したい時間帯を地区ごとに調査 ・ 全国の同規模市町村の先行事例の収集分析 ・ 駅への自家用車送迎回数の調査（潜在需要の把握） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段のデータの集積
9.	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動スーパーの品を増やす ・ 一定額以上購入したら配達無料のサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徒歩や二輪の利用 ・ 自分の足は自分で確保

■交通機関別

<バス>

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
1.	コミュニティバスのルート・ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 便数を増やす（毎時1～4本） ・ 市役所行きと病院行きの本数増やす ・ 工業団地の通勤時間に増便 ・ 運行時間延長（21時まで運行／早朝深夜便／北ルート16～19時台の増便） ・ 経路の単純化、駅アクセスを中心としたルート再編 ・ 駅と結ぶ先は、文化会館・市役所、運動公園、各センター ・ 新鎌ヶ谷ルートの復活（富士～西白井～、コミプラ～） ・ 第一小学区バス停から市役所に接続 ・ 桜台～中央駅～高花地区の巡回ルート ・ 児童の登校利用が不要になった分、第2小学校区を多く回る ・ 目的別の臨時便（買い物、プール、イベント） ・ 休日運行、イベント日の臨時便など ・ バス停を増やす or 自由乗降ゾーンを増やす ・ 工業団地のバス停増設 ・ 保育園前や子どもが遊ぶ所に停留所を増やす ・ 隣接市との連携による効率化 ・ 路線バスとナッシー号での時間調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民から提案を出す（ルート・時間） ・ 利用したいルート・時間帯を要望する ・ 案作りに参加する。意見を述べる ・ 自治会で新鎌ヶ谷ルート新設の声を集めて市に要望する ・ 市が把握したルートやダイヤの地域ニーズをAIで整理
2.	民営路線バスのルート・ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝・晩の増便 ・ 京成バスセントラル白井線、富士付近にターミナル用地を設けて鎌ヶ谷大仏～白井車庫の便を増便。 ・ 京成バスウエスト西白井線のルート変更（北総白井病院経由） ・ 市役所内にバスターミナルを設けて白井駅止まりを白井市役所行に ・ 富士地区から新鎌ヶ谷駅行の新設要望 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス会社に要望書と署名を集めて提出する

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
3.	定時性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の小型化 ・ ナッシー号の平塚・今井方面は11人乗りで運行 ・ バス専用レーンの整備 	
4.	停留所	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベンチや屋根をつける ・ 行き帰りの停留所を同じにする ・ 安全なところへのバス停の設置 	
5.	利用案内	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所の休憩所に案内表示、デジタルサイン ・ バス停に時刻表やルートの音声案内をつける ・ 高齢者にわかりやすいルート・バス停の資料を作成、配布 ・ バス停のネーミングライツ（周囲の施設の案内にも効果） ・ バスロケーションシステムの利用率が極端に少ない場合は廃止を含め検討 ・ ナッシー号の体験ツアー ・ いつでもどこでもスマホで情報を得られるアプリ ・ バスロケーションシステムの使い方の啓発強化 ・ 乗り継ぎ方法をもっと知らせる ・ 運行情報の周知（速報） ・ バスルートの表示（白井車庫、工業団地など） ・ 運転士が停車の都度〇〇行きと伝える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区の回覧板で「ナッシー号」ロケーションシステムを周知する
6.	運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の補助によるバス運賃の値下げ ・ 無料バスの運行 ・ バス運賃の値上げ ・ 白井駅～市役所・保健福祉センターは料金を安くしてほしい ・ 1日乗車券などの発行 	

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
7.	利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポイント付与（公共施設にナッシー号で訪れた場合など） ・ 観光的要素を入れて、他地域からの客も呼ぶ ・ 貸切りバスでの地域めぐりの企画 ・ 市内の名所を巡る観光特化の路線 ・ 1日無料デーを決め、親しみをもってもらう ・ 文化ホールの有効利用で交通活性化 ・ 第2小区を観光地として、他地域からの人々がよく来るように ・ ナッシー号の車内放送で来訪意欲をそそるような各地の宣伝をする ・ 市職員は公共交通で出勤 ・ 小中学校などでバスを利用した市内見学を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナッシー号を積極的に使う ・ 利用する会を結成 ・ 毎月1日をバスの日とする ・ 周知（口コミ、ポスター、しろいまっち、回覧板、広報、LINE等） ・ 企業が通勤者バス利用日を設定 ・ 毎月1回工業団地巡りのバスを出し、地域の人々が協力して盛り上げるコラボ ・ 乗り方を知る機会を作る、ナッシー号の乗車体験ツアーで白井市内巡り ・ 来訪者をふやすようにSNSで情報発信 ・ ナッシー号を利用したイベントを市民団体で企画（お花見会、七福神めぐり、子ども向けに「おばけの話を聞こう」、市の名所に「バスで出かけよう」、プラネタリウム、競馬など） ・ 地域内を巡り主要駅へ向かう観光バスの運行と同時に、地域も自分達のまちをPRすることで客を増やす ・ 市内の店と協力してバス利用者向けのクーポン券配布
8.	運行の共同化・送迎車等活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間バスと企業バスの共有化（費用は補償、市が助成） ・ 民間タクシー・バス会社の連携で巡回バスの共同運行（→駅、市役所、病院、スーパー等） ・ 工業団地の企業バスを日中に地域に走らせるスキーム作り ・ 企業運営の通勤バスに補助金給付 ・ ゴルフ場、病院、送迎バスの市民利用 ・ 病院送迎車をユニバーサルデザイン化 ・ 市がバス事業者に資本参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業団地が協力して、団地内を回って駅へ向かうバスを持つ ・ マイクロバス所有事業所、法人の情報収集と検討会の設置 ・ バスの共同運行を計画する

<タクシー>

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
1.	運賃	<ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー券の対象拡大 免許返納者にタクシー料金の割引（50%程） 介護タクシー料金を安価にする 市内移動は許容できるが他市への移動は安くして欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉タクシー券の条件緩和の要望 署名を集め市長及び議員に提案を出す
2.	サービス	<ul style="list-style-type: none"> 車イスでも気軽に乗れるタクシーを増やす 介護施設と連携した高齢者向けのサービス（有料で） 子どもだけで乗れる安全なタクシー！！（迎えに行けないとき） 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉関係の情報を共有する

<鉄道>

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
1.	運賃	<ul style="list-style-type: none"> 新鎌ヶ谷～印西牧の原間の住民優待 免許返納者への割引制度を 北総線 千葉 NT イオンとの協同による割引 北総線昼間割引、土日割引回数券の復活 北総線回数券の復活 	
2.	ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> 北総線列車の増便 	

■道路・交通安全

No.	解決策の分類	提案内容	地域で市民や企業等ができること
1.	渋滞の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路計画の見直し ・ 北環状線の早期開通 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リモートワークを増やす
2.	道路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭い道路の歩道整備（歩道を広く平らに） ・ 自転車通行帯の確保、自転車レーンの見直し ・ 車、自転車、歩道（バス待ち）を区分できるような整備 ・ 子どもの自転車の安全教育 ・ 信号のない横断歩道の安全対策（見守り、ミラー設置） ・ 通学路の歩道を広げる（南園地区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の拡幅要望を各学年毎にまとめ市に要望する

◎いただいた「困りごと」は、おおむね前回会議で整理した5つの課題に収斂されるものの、個々の事案は極めて幅広い
⇒計画に定める取組だけで全てをカバーすることは困難なため、いただいた解決案のアイデアも参考にして、多様な困りごとへの波及効果が高い取組内容を考え、計画に盛り込んでいく。